

三木ロータリー週報

会長・宮永 淳 幹事・小藤 貴雅 S.A.A. 畑中 伸介 クラブ会報委員会一発行

例会日・毎週金曜日12:30~13:30 例会場・三木商工会館4階大会議室 TEL (0794)82-3190

事務局・兵庫県三木市本町2丁目1番18号 三木商工会館内 TEL (0794)82-8880
FAX (0794)82-0909
URL: www.miki-rc.jp E-mail: info@miki-rc.jp



ロータリーのマジック

2025年 2月 7日 NO. 28 (NO.3247)

今週のプログラム 2月 7日 クラブフォーラム 国際奉仕委員会 岡田紹宏 委員長
「子ども日本語教室『みきっず』として子どもたちと共に過ごして」
～多文化共生の渦中で児童・生徒を取り巻く環境～

次週のプログラム 2月14日 会員卓話 西垣孝信会員 ゲスト講師 2月7日
講師：大西慶志様
（子ども日本語教室「みきっず」ボランティア）
同日者：河越恭子様
（三木市国際交流協会事務局長）

本日のソング ♪君が代・奉仕の理想・ハッピーバースデー♪
次回年2月14日のお弁当はむさしさんです S.A.A.

親睦(委) **ご結婚記念日祝** 片山真人君・小山幸夫君(3日)
お誕生日祝 繁田正文君(1日)・片山真人君君(3日)
橘田剛君(4日)前田静也君(14日)・三宅哲正君(21日)・五本上照正君(23日)

出席(委)

出席記録	会員数	出席者	当日出席率	メイクアップ他	出席率
本日	49名中				
1月31日	49名中	38名	38/45 84.44%	0名	38/45 84.44%
1月24日	49名中	35名	35/43 77.78%	0名	35/43 77.78%

ホームページ会員専用
ID: mikirc
PW: miki1230

◇ 1月24日のメイクアップ 出席者 ◇ 1月31日のメイクアップ 出席者
ご入会記念日お祝 西垣孝信君(42年) 本岡秀雄君(32年) 岡田紹宏君・松岡丈二君(8年) 竹内良一君(7年) 田中聖之君(2年)

前回例会2025年1月31日の記録

【会長の時間】

IMまで最後の1日となってしまいました。森永実行委員長、岡島副実行委員長をはじめ、IM実行委員会メンバーの方々に大変ご苦勞をお掛けしまして、なんとか出来そうな感じがいたします。また河原さんが「一座高こうが御座りまするが」と口上を述べる所がありますが、ここだけで宮脇さんの熱血指導が1時間位ありました。笑 歌舞伎の口上なので「一座を平らに言うてはあかんのや！出して引いて出すんや！」と延々続いていました。明日この成果が必ず出るとお思います。

私は「うちのクラブの自慢話」はパワーポイントを使って発表いたします。内容は金物をベースにしていますが、金鹿ガバナー補佐の「よいしょ」とイジリが入っておりますので、笑う所かなと分かった場合は、皆さんで大きく笑って頂いて、滑り止めで宜しくお願いします。

従来と違うI.M.という事で、なんとか成功させたい。明日1日、小道具も含めて全体の内容が「金鹿劇場」ですので、楽しみにして頂ければと思います。皆様のご協力のもと、成功裏に収めたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

【幹事報告】

I.Mのバスにつきまして、実行委員会の皆様は9:30集合です。一般の方は10:30です。バス乗車と2次会の出欠と合わせて取りましますので、回覧いたします。



【委員会報告】出席 本日の例会は会員49名中38名出席で出席率は84.44%です。

ニコニコ箱 (*^-^)

- 宮永 淳君 明日のI.M.が大成功しますように
- 森永英樹君 いよいよ明日I.M.本番です。皆様ご協力よろしくお願ひいたします。
- 岡島正造君 いよいよ明日になりました。皆様のご協力で何とか形になりそうです。IM準備中の控室風景
お開きまであと1日よろしくお願ひします。
- 田中秀和君 明日、いよいよI.M.です。映像担当としてスライドを作成しておりますが201ページとなりました。明日はミスのないよう頑張ります。私も精いっぱい楽しみます。宜しくお願いいたします。
- 河原秀行君 明日、三木ライオンズクラブ様の口上を担当致します。さすがに緊張してきました。宜しくお願いします。
- 津村敏弘君 本日はクラブフォーラムR情報委員会での報告ですが、内容は弊社の「会社案内と改善」というテーマでお話させていただきます。
- 大西次丸君 三木市美術展に異分野(日本画)で初出品しました。結果は奨励賞を授与されました。2/2(日)まで展示です。作家名は「大西耕道」となっています。証明が非常に悪く作品の良さが分かりにくく、三木市の新美術館の建設が待ち遠しいです。



累計 1,324,100円

クラブフォーラム ロータリー情報委員会 津村敏弘委員長

本日は、末廣精工株式会社の会社案内とどの様な改善を行って来たのかをお話しします。

- ①沿革 1923年6月創業で当初はのこぎりを主に製造。9月に関東大震災が起り、復興需要で多くのこぎりが売れた。
1958年ガイドバーの量産を日本で初めて開始。
1980年ヘッジトリマーブレードを生産。
1995年阪神大震災をきっかけにレスキューチェーンの製造を開始。



②自社商品の紹介

- <ソリッドガイドバー>・・・100%特殊鋼でSKS-51を使用。3回の歪取り工程を行う。塩浴熱処理工程(塩で加熱して塩で冷却)してるのが弊社の特色。
- <軽量ソリッドガイドバー>・・・通常のバーと比べて強度を下げずに20%の軽量化に成功。逆テーパ状に加工し、硬質樹脂を埋め込んでいる。プロマーケットでは90%の人が軽量ガイドバーを選択
- <特殊カービングバー>・・・チェーンソーアートの使用。先端8ミリの超極細に溶着させる。金属を汗ばむ程度に温めてその上に合金を付ける。母材硬度を落とさず、極細の母材に付けていくのは大変難しい技術。プロのチェーンソーアートの方へSNSで広報して直接販売し、名だたる方にほとんど採用頂いている。

③ISO9001に基づく品質管理

全ての工程で抜き取り検査による品質確認。検査による最終工程での品質確認。

④改善活動

昔から鍛冶屋さんは腕は良いが、プライドが高く人の話を聞かない特徴がある。黙っていても良い商品を作るので問題は無かったが、プラザ合意で1ドルが260円から130円に。アメリカ向けが多く1年半で売上が55%減少した。輸出から国内販売へ、外注から内製化する事でなんとか乗り切った。

1995年辺りから世の中が騒然とし、金融機関の倒産等もありデフレの時代に。大量生産から多品種小ロットの時代になり、管理をして変化に適応した組織に変えていく必要が出てきた。

「現場改善入門」の本を購入しセミナーに参加した事で、柿内幸夫先生に出会い現場改善の指導を依頼。要る物と要らない物を分けると、ほとんどが要らないものだった。1970年製造の高価な金型や不良在庫が見つかり廃棄した。ロットを沢山作ればコストダウンになるとして、300個受注の所500個作っていた。残業をし、材料もその分必要で、200個の在庫を抱える事に。それを在庫半年分の300個を作る様にしたが先生は駄目だと。必要な分だけ作る様に指導が入り、100個ずつ作る事に。すると材料、消耗品、残業も減り、お金が余る様になった。

このように見かけの能率に惑わされず、真の能率を心がけるようになった。

